

折高AL通信

福岡県立折尾高等学校
「新たな学び」推進委員会発行
令和5年11月29日 Vol.27

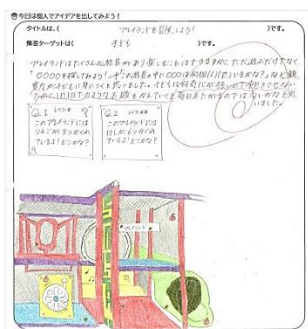
公開授業週間を生かした共通実践（パフォーマンス課題の実践と評価法の作成・活用が一体となった授業実践）を通して、教科・科目を超えた先生方の知見を共有することができ、組織的・計画的に生徒一人一人の資質・能力を育成する大変意義のある取組になりました。可視化された授業実践やそれを通して得られた同僚性、ルーブリック保管庫に共有・共用された先生方の学習教材等は、折尾高校の大きな財産です。是非、今後の先生方のさらなる授業改善の一助としてください。

さて、さらなるグローバル化の進展や生成AI等、絶え間ない技術革新による予測困難な時代において、ますます『個別最適な学び』と『協働的な学び』が一体となった主体的・対話的で深い学びの視点のある授業改善が求められています。今回のAL通信では、本日の職員研修で取り上げることができなかった授業実践を2つ御紹介させていただきます。

生活産業基礎（1年生）

本単元のはじめに「マクドナルド八幡則松店の来店者数を増やすための取組を考えて発表しよう！」という「学びの舞台」が生徒たちに事前に提示され、約3ヶ月に及ぶ授業が展開されました。マクドナルドのスタッフの方へのプレゼンまでの過程・発表・振り返りを通して、生徒たちは探究的な深い学びを実現することができました。

①各自アイデアをだして、そのアイデアを基にグループピング

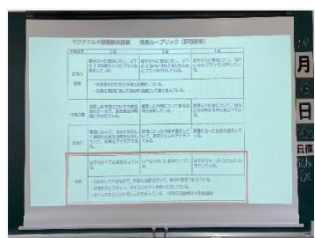


「プレイランド」に着目した案



マックカフェのポップ作成

②Google スライドを生かしたプレゼンづくり



評価基準の共有



PREPの法則

山本教諭によると「思考の整理をさせながら、どのようにして説得力のあるプレゼンにするのか工夫させました。」とあるように、PREP（結論・理由・具体例・結論の再確認）の法則を生徒に再認識させていました。また、ルーブリックを活用することで評価の基

準が明確に示され、生徒たちは他者視点を忘れずに真剣にプレゼン作成に取り組んでいました。

③学びの舞台

企業の方向性に合わせ、実際の店舗状況などから根拠を基にプレゼンする必要性を感じた（生徒の振り返り）。



オリジナルのフォトスポット作成

「お客様を増やすという目的が弱い」というフィードバックをいただいた。次回の発表で最善の案を提案したい（生徒の振り返り）。



学びのリフレクション

世界史A（3年生）

「世界帝国となったことで、ローマ社会はどのように変化したのか、皆で推理してみよう！」というパフォーマンス課題が実践されました。松本教諭によると『もっと生徒が主体的に参加できるように』『すべての生徒に活躍の場面があるように』という視点を取り入れ授業を構成した。」とあり、多様な学習教材の提供であったり、エキスパート活動を取り入れたりするなどして、「協働的な学び」が実現されていました。個からグループへ、グループから全体へ、そして最後に全体から個へと、学びの往還が織りなす展開は、まさしく、「主体的・対話的で深い学び」の視点のある授業実践でした。



パフォーマンス課題の共有



協働的な学び